



平成 18 年 11 月 13 日

各 位

会社名 株式会社新日本建物
 代表者名 代表取締役社長兼社長執行役員
 村上 三郎
 (JASDAQ・コード番号: 8893)
 問合せ先 常務取締役兼常務執行役員 管理本部長兼財務部長
 壽松木 康晴
 (TEL.(03)5227-5605)

平成 19 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 5 月 15 日に公表した平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績の修正 (単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	75,500	3,020	1,740
今回修正予想(B)	75,900	3,300	1,790
増減額(B-A)	400	280	50
増減率(%)	0.53	9.27	2.87
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	53,405	2,324	1,206

(2) 個別業績の修正 (単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	75,500	3,000	1,730
今回修正予想(B)	75,500	3,050	1,750
増減額(B-A)	-	50	20
増減率(%)	-	1.67	1.16
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	53,089	2,296	1,275

2. 修正の理由

個別業績におきましては、当中間期の売上高実績は期初予想を若干下回ったものの、通期の売上高は期初予想を達成する見込みであります。

利益面につきましては、期中において取得した子会社に戸建販売事業全般の業務を委託する形態に変更したため、同社に対する業務委託手数料相当が利益を押し下げる要因となっております。一方、特にマンション販売事業における広告宣伝費の圧縮効果により、当中間期は、期初予想と比較して増益となっておりますが、通期においてもこれらの原因により、期初予想を若干上回る見込みであります。

連結業績におきましては、連結子会社で戸建の自社販売事業の売上が若干見込まれることや、戸建販売事業の業務委託手数料の連結消去の影響などから、期初予想に比べ経常利益は 2 億 80 百万円増加する見込みとなりました。

以上